

WRITING NOTE

Topics 1

教職支援室へ行こう。

Topics 2

大音に集まった！
お土産コレクション 2013

Interview

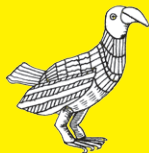
大音の☆めがねさん

News

日本語ライティング支援室ニュース

vol.9





教職支援室の **5** つのお役立ち

その1 教員採用試験の受け方がわかる

中学校や高校で音楽の先生として働いてみたい…というあなた。いつ頃までにどんな準備をすればいいのか、教えてもらえます。大阪府、兵庫県、京都府、受けたい所によって準備は違いますよー！

その2 一緒に勉強する仲間がいる

勉強のしかたがわからない…勉強する気分になれない…そんなあなたには、熱い仲間が必要。教職支援室なら、同じ目標を持つ人たちが集まってきます。

その3 講師募集などの情報をもらえる

一口に「学校の先生」と言っても、道のりはいろいろ。教員採用試験を受けて公立の中学校・高校の先生になるパターン、私立の中学校・高校の講師募集に直接応募するパターン、各県の教育委員会に登録をして講師になるパターンなどがあります。

その4 教育の現場について話を聞ける

時々、本学の卒業生である現役の学校の先生が来校され、リアルな現場のお話をさせていただきます。また、本学の教職部会の先生方も折にふれ来室され、授業では聞けなかったお話を伺うことができます。「先生ってこんな仕事」というイメージがふくらみますよ。

その5 不安なときは愚痴を聞いてもらえる

愚痴を聞いたり励ましたり叱ったりしてくれる、ピアサポーターの存在。授業についていけない…何を質問すればいいのかもわからない…心が折れそう…そんなあなたに勉強のしかたを教えてくれるだけでなく、がんばれ！とエネルギーをくれます。



2011年7月、H号館202号室に教職支援室ができました。チャームポイントは、ピアサポーターのお2人による「あけっぱなしのトピラ」。教職を目指す皆さん、いつでもどうぞ！と大歓迎してくれる部屋です。

ここ数年、教職支援室を設置する大学が増えています。日本が小児化の時代を迎え、数少なくなった子どもの教育を、これからどのようにしていけばいいのか。これから学校の先生になろうとする人たちは、どんな勉強をしていけばいいのか。各大学の雰囲気に合わせて、それぞれに個性ある活動をしている教職支援室。

大音の教職支援室ならではの素敵なお話を見つけてほしい！と、H号館202号室を訪ねてみました。

ここへGO!!



開室 月曜日～金曜日 12:30～17:30
場所 H号館202号室
連絡先 daion.trsr@daion.ac.jp つぶやき @daion_202



大音の卒業生！

ピアサポーターのお2人です。

村上さん（月・水・木・金 担当）

ピアノ専攻卒業

趣味は宝塚歌劇団の観劇

最近、三島由紀夫が気になる

池田さん（月～金 担当）

ピアノ専攻卒業

趣味は読書（マンガ多め）

最近、腱鞘炎がひどい

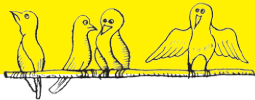


フリーペーパー「あけっばなしのトビラ」。大音の教職支援室の名物と言ってよいのではないのでしょうか。オール手書きで面白い、親しみやすい。手書きで楽しいプリント作れるって、実は学校の先生にとって美味しいスキル。「あけっばなしのトビラ」は A 号館 1 階の階段下や、教職支援室で配布しています。

卒業生として、後輩たちには色々なことに興味を持ってほしいそう。小さなことでも、「ん？」とひっかかってほしい、とっかかりをつくりたいという気持ちから、教職支援室には美術展などのチラシ、アイドルのポスター、いいなと思った「言葉」など、たくさんのお興味のタネを置いています。



← H号館の踊り場に置いてある階段看板



「音楽の先生」になるためのサポートは、キャリア支援センターでもやっています。情報は教職支援室でも、キャリア支援センターでも気軽に聞いてくださいね。



教職支援室では

こんな講座をやっています。

極意を伝授！

その1

弾き歌い道場

教員採用試験では、ほとんどの都道府県市で、ピアノ弾き歌いテストがあります。教員採用試験を想定し、実際に試験で出題された問題を使って、ピアノ弾き歌いの練習をすることができます。2ヶ月に1度開催しています。



基礎力 UP!

その2

STUDY! (ミニ勉強会)

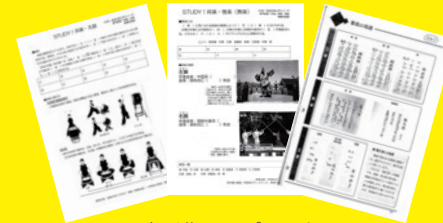
教員採用試験の最初の難関である筆記テスト対策として、中学の教科書などをもとにピアサポーターの2人が問題を作成。講座は2月・3月の春休みに実施していますが、プリントは教職支援室でいつでも配布しています。人気は邦楽。今後もどんどん種類が増える予定。

実践第一！

その3

面接練習

教員採用試験では、面接が配点の半分以上を占めています。練習は絶対必要！自分の持ち味を出すこと、考えを明確に話すこと、慣れていないと難しいものです。教員採用試験の前の5月と7月に実施しています。（6月は教育実習）



↑手作りのプリント



↑教職支援室に代々伝わる弾き歌いの極意



集まれ！大音の素敵なめがねさんたち！

大音の★めがねさん

10本目 声楽コース1年 武政文恵さん（ソプラノ）

今日のめがね：数年前に韓国のソウルで買った黒縁めがね。自称「教育ママ風」。いえいえ、黒一色でコーディネートされた洋服とめがねがぴったりで、おしゃれです。ソウルにはめがねの激安店がたくさんあるそう。



今回のめがねさんは、声楽コースの武政さん。大音に入学する前に、社会人として就職や結婚をされている、年上の学生さんです。おしゃれの話や仕事の話、音楽の話など、興味しんしんでお聞きしました。

★ザ・めがねの使い分け

——めがね、おしゃれですね。

「おしゃれってこともないんですが（笑）。今日はインタビュということで、たくさん持ってきました。ええと…。」

——わあ、めがねがいっぱい出てきた…！

「これ（グリーンとオレンジのセルフレーム）は、『冬ソナ』ブームの頃、すれ違った中年の女性たちにいっせいに振り向かれました。ペ・ヨンジュン好きと思われたみたいです。こっち（シルバーのシンプルなもの）は、冠婚葬祭用。こう、髪をまとめてめがねをかけて、『いい嫁』を演出するための（笑）。あと、今一番よく使っているのは、薄く色のついた偏光めがねですね。紫外線が目によくないので、健康の意味で。」

——使い分けてますねえ。

「まあ、大人なので（笑）」。

——めがねはステージでも使ってますか？

「ステージでは絶対にコンタクトですね。ステージでめがねだと、めがねのキャラに見せたいのになってお客さんに思われてしまう。歌の内容とまるつきり違うキャラで出るわけにはいかないの、ステージではコンタクトにします。」

★社会人時代

——お仕事は、どんなことをされていたんですか？

「短大の英文科を出た後、旅行会社でカウンター営業を10年しました。」

——旅行がお好きだったんですか？

「英語を使ったかったんです。でも、実際には日本人のお客様と接するサービスマン業務が中心で。忙しかったけど、やってみるとすごくいい仕事でしたよ。旅行に行こうという方は幸せな人が多くて。」

——ああ、確かに。旅行は楽しみですよ。

「ハナムーンのお客さんが多かったですね。カップルで来ているお客さんと、私は女性の方だけを見て営業をしてみました（笑）。どこに行きたいか、たいいてい女性の方がしっかりと気持ちを持っているので、女性だけを見ておすすめする。で、

だいたい内容が固まって、最後の決断になった時に初めて、じいっと男性を見ます。そうするとそこで男性の意思も入れられて、みんなが丸くおさまるわけです。」

——なるほど…！

「契約が成立すると、シールを貼っていくんです。社内で1位になって、ビデオデッキをもらったことがあります（笑）」。

★合唱から声楽へ、そして大音へ

——ちなみに社会人時代は、音楽はどうでしたか？

「音楽は、小学校4年から合唱をずっとやっていました。社会人の時も合唱団に入っています。」

——今は声楽を勉強されているんですよね。

「結婚後、夫の転勤で各地を転々としていたんですが、出産して東京に戻ってきた時、カルチャースクールで合唱をと思っに入ったら、声楽だったんです。」

——合唱と声楽の違いって、何ですか？

「一番とまどったのは、指揮者がいないこと。音楽は指揮者のもの、自分たちは指揮者の道具だと思っていたんですね。指揮者が音を伸ばせば自分たちも伸ばすっていう。それが声楽に

行ったら、違っていた。その時教わった声楽の先生が、ピアノを弾いてくださった時に、『武政さん（ピアノを弾いている）私の背中をずっと見ても、歌はできてこないわよ。この歌は、あなたの歌なんだから、あなたが作っていかなくちゃ』と言われたのが目からうろこでした。自分が解釈して、自分が歌うんだっていうのを知ったんです。それからもう、合唱には戻れなくなっていましたよ…。」

——それからずっと声楽を。

「はい。8年前に関西に転勤になり、それから栢本淑子先生に声楽を習い始めました。関西には知り合いも親戚もいませんでしたが、どこに行っても歌で人間関係を乗り切ってきたんです。この時はもう声楽をやりたいって自分でわかっていたので、カルチャースクールで声楽を探して。それで教えてくださったのが、大音の栢本先生でした。」

——音大への入学は、何がきっかけで決心されたんですか？

「カルチャースクールの時、思い出作りのために、一度コンクールに出てみたんですね。思いがけず本選まで行ったんですが、緊張しちゃって、歌えなくて。その時、周りの音大出身の人たちの歌を聴いて、これももう別物だと。悔しかったし、自

曲も流行っているので、かじるくらい、やってみたいなと…。」

——いろいろな曲があるんですね。今、好きな曲は？

「後期からやっているドニゼッティの歌曲集。細かい首で「口

「口」と回すというのが、今まで自分がやってきた技術にはない難しさです。」

——なるほど。大学で好きな場所はありますか？

「練習室です。場所はナイシヨ。」

——ええっ。倍率が高いんですか？

「いえ、低いんですけども。5階まで上がっています。」

——それがヒントですね(笑)。

「F号館の5階まで上がると、本当にいい運動になるんです(笑)。」

——レッスンの他に好きな授業はありますか？

「南川弥生先生の音楽理論。今まで全く勉強したことがない分野なんです。他の学生の皆さんは素地があるから羨ましい。私は必死で勉強してついでに…。」

——でも勉強するのが楽しいんですね…。

「そうですね。それが贅沢なんです。前に学生だった時は、どうやって単位を取るかとか、バイトと公コンのこと

分もせひ行ってみたいなと…。それで大音のHPを調べたら、行けるかもしれないという条件が見つかったので、チャレンジしました。」

——今、短大ですよ。大学への編入などは考えていらっしゃいますか？

「そうですね…。そういうことは考えていません。栢本先生が私の卒業と同じ年に定年退職されるので、一緒に卒業したいです。その後、個人的に師事できたらと思っています。習わないと、雑になってしまう。」

★大音生活

——大音に来て、練習の仕方などは変わりましたか？

「それは変わりませんね。でも、レッスン室（個室）にグラランドピアノがあるのはすばらしいと思います。練習は、発音、発語をなんとかしないと…。」

——へえ…。勉強のスケジュールは？

「毎朝、イタリア語を。それとレッスン室で歌とピアノ。早寝早起きなので朝勉強です。来年になったらドイツ語の曲もする予定なので、ドイツ語もやりたいです。あと、フランス語の歌

ばかり考えてたんですけど。今思うと、勉強できるということ、が、学生が一番よかったんだなあと思えます。知人から、卒業後どうするのとか、野心家とか、言われることもあります。でも違って、なんていうか…今が、若い頃に夢見た将来そのものなんです。楽しい毎日を、ちゃんと楽しくやっています。将来のための準備というのではなく、ただ日々の暮らしをきっちりやっていくことで、自然に道すがらできていく。そういう生き方しか、今の自分にはできないと思っています。」

★最後に

——たかさんのお話をありがとうございました。

では、恒例の質問です。武政さんにとって「音楽」とは？
「コミュニケーションの道具ですね。知らない土地に行っても、世界中どこに行っても、歌えばなんとなく自分のことがわかってもらえる。仲間ができます。」

——今日はありがとうございました！

大音に集まった！ お土産コレクション2013

駅買い！

←【姫路駅にて】姫路城瓦煎餅

実家は兵庫県加西市なのですが、山陽本線に乗っていると他の町の色んなお土産が買えるので、たくさん買ってきました。(教養教育 助手)



←【赤穂駅にて】塩味饅頭 志ほ万



味違い！



↑【京都府の人気】

恋いろ想ひそめし冬三味
& つぶつぶイチゴ

長岡京市の有名なお煎餅屋さん、小倉山荘のチョコあられです。柚子味とイチゴ味。20分並んで買いました…！

(日本語ライティング支援室)

2013年になってはや3ヶ月。寒い冬の日が終わり、試験も終わり、春が来ました。皆さん、冬休みや春休みはどんなふうに通りましたか？ 帰省や旅行であちこちに出かけた人も多いのでは。お休み明けの大音には、日本各地から色んなお土産が集まりました。「今年度もよろしくお願いします」のご挨拶とともにやって来たお土産たち、そのごく一部ですが、ここに紹介したいと思います。美味しいもの、おしゃれなもの、ユニークなもの、色々ありますよ。



足袋まで！！

1人でたくさん
買っちゃいました編



↑【岡山県銘菓】岡山のもの

妻の実家の高松へ帰省した際に、岡山で買った。果物ではなくお菓子です。その他に高松で「醤油豆銅鑼焼」(どら焼き)や「歩きへんろたび」(足袋)、愛媛で「みかん酒」なども買い、どんな要望にも応えられるようにお土産を取り揃えました。

(教養教育 教員)





↑【宝塚】宝塚せんべい

宝塚歌劇が大好きで、行ってきました。好きな団員は……みんな好きです。全員、まんべんなく好きです。お土産に、劇場で売っているこれを買ってきました。「せんべい」とありますが、和風のおせんべいではなく、卵の優しい味がする洋風のお菓子です。(教職支援室)

あなたの知っているお土産はありましたか？ お土産を通じて知らない場所に思いを馳せるのも、楽しいものです。学生の皆さんも、おすすめのお土産があれば、ぜひ教えてください！
写真撮影にご協力くださった皆さま、ありがとうございました。



焼菓子！

お紅茶！

↑【鎌倉】ラ・ヴァニエユ

鎌倉のパティスリー LESANGES の焼き菓子です。実家が逗子で、毎年冬休みにここでお紅茶とお菓子をいただくのが恒例になっています。お店は外国人も多く、とてもおしゃれなんですよ。(秘書室)

優雅な冬休みを
過ごしました 編

ジェンヌ！



淡路島！

【淡路産たまねぎ 100%使用】
AWAJI ONION SOUP→

冬休みに淡路島に行ったので、オニオンスープです。お土産定番のお菓子を脱出して、斬新さを狙いました。(キャリア支援センター)



岡山県！

↑【岡山県の定番と新定番】

きびだんご&蒜山カマンベールワッフルクッキー

定番のきびだんごと、定番を脱したい人向けのワッフルクッキーです。蒜山はジャージー牛乳のおいしい牧場があるところ。クッキーの賞味期限は今年の6月10日という便利さ。(教職支援室)

【高知限定】チーズ&チョコケーキ→
家族が高知に行ったので、そのお土産をもらってきました。友達に配っているところです。(短大1年 ピアノ)

香川県！

←【香川県銘菓】名物かまど

香川県民なら誰でも知っている、白あんのお饅頭です。パッケージが可愛いのと香川アピールのために、買ってきました。

(教養教育 教員)



定番
VS
脱定番 編

高知県！



日本語ライティング支援室ニュース

H号館 304号室でひっそりと活動している日本語ライティング支援室。
書き方相談の受付、教材の発行、音大生のための突発ミニ企画立案など、
地味にあれこれやっています。



講演会を開催しました。

講演会「紙芝居劇むすび ゆるーく、
でも、根っこには深く」

2012年12月12日(水)

15:15～16:45 B401

講師：石橋友美さん（「紙芝居劇むすび」マネージャー）

司会：山下豊先生（哲学）

「むすび」は、日本最大の日雇い労働者の寄せ場であるあいりん地区、通称・釜ヶ崎で活動している紙芝居劇のグループです。60代から90代を中心とし、保育園やお年寄りの施設など、たくさんのイベントで手づくりの紙芝居劇を公演しています。彼らにとって、紙芝居を続けることにはどんな意味があるのか？ いろんな人に助けられながら、紙芝居を通じて人と人が結ばれていく様子について、「むすび」のマネージャー、石橋さんにお話をさせていただきました。静かで優しい口調の石橋さん。講演後のアンケートでは、「初めて知る世界に衝撃を受けた」「考えさせられた」という長文の感想が並びました。



「こんなことやってほしい!」「企画してみたい!」お待ちしております。



PV 講座を開催しました。

音大生のための PV 講座

2013年1月16日(水) 17:00～18:30 A305

講師：三丸聡さん（ビジュアルアーツ専門学校大阪 講師）

自分のステージを撮影して、かっこよく見せたい。音楽に映像を合わせて、素敵な動画を作りたい。そんな音大生のために、PV (Promotion Video) の作成講座を開催しました。講師は、プロの映画制作の現場で活躍されている三丸聡さん。参加者全員が実際にノートパソコンで映像を編集してみるという、体験型の講座になりました。最初は講師も参加者も緊張していましたが、手を動かすうちに笑顔が。講座後のアンケートでは「ものすごく楽しかった!」という感想が出ました。

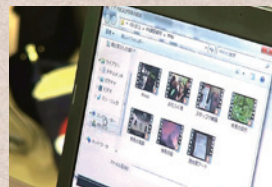
当日のようす



① 映像の「撮り方」について。
スマートフォンを構えて、ロング、ミドル、アップなど、色々な距離から撮影してみましょう。



② 講師作成の PV 映像を鑑賞。
「有馬温泉ゆけむり大学 2012」の演奏風景を PV に編集したものを見ます。プロの本格的な編集に、「すげー!」と声。



③ 実際に編集してみる。
Windows Movie Maker を使って、ハンディカメラで撮影した映像を PV に編集します。「いつ、どこで」「誰が主人公か」「場所の雰囲気」などを考えながら編集のレッスン。

教室の様子を撮影した **DVD** を貸出中!
貸出場所…日本語ライティング支援室・キャリア支援センター
内容…講座を最初から最後までまるごと撮影しました
時間…1時間3分

最近はこんな相談がありました。

プログラムノート（曲目解説）

音大生ならではの相談、演奏会のプログラム冊子に掲載するプログラムノート（曲目解説）。特にクラシック音楽を専攻する人にとっては、悩みの種ではないでしょうか。相談の際、皆さんが意外に忘れがちなのが、「解説は読者のために書く」という大原則です。

- ① 話題をしぼらないと読みづらい
 - ② 専門用語を使いすぎると読みづらい
 - ③ 個性がないと面白くない
 - ④ 敬語の使いすぎは気持ちが悪い
- 読者のこと、考えてますか？ 日本語ライティング支援室では、書き方に関する相談を何でも受け付けています。予約不要ですので気軽にどうぞ。



ホームページできました。

<http://ongakutokotoba.com/>

発行日：平成 25 年 3 月 25 日発行

大阪音楽大学 大阪音楽大学短期大学部 日本語ライティング支援室

平成 24 年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」採択事業

H 号館 304 号室（内線 527） 相談受付：月～金 10 時～18 時

メールアドレス：daion304@gmail.com